

令和3年度 東京都の取組報告

～子供の万引き防止～

- 1 健全育成音楽劇
- 2 万引き防止啓発リーフレット
- 3 万引き防止標語(ポップ)

令和3年度 東京都の取組報告

～子供の万引き防止～

1 健全育成音楽劇

- (1) 概要
- (2) 実績
- (3) アンケート結果

1 健全育成音楽劇

(1) 概要

【目的】

「万引きが犯罪であること」をテーマとした、オペラ歌手による音楽劇を児童、保護者、地域住民等が鑑賞し、万引きについての考えを深め、「万引きをしない、させない、見逃さない」という気運作りと、規範意識を育むことを目的とする。

○平成20年度より実施

- ・区市単位で募集し、小学校で公演
(平成23年～平成30年)
- ・東京都の小学校から4校を選定し、公演
(令和元年度～現在)



1 健全育成音楽劇

(2) 実績

都内全小学校に「健全育成音楽劇」の開催を呼びかけ、以下の4校で音楽劇を実施。

学校名	日時	参加学年等
稲城市立 南山小学校	10/12 (火)	観劇 : 2年生(78名) リモート : 1, 3年生(139名) 合計 : 約210名
板橋区立 北前野小学校	10/16 (土)	観劇 : 4年生(58名) リモート : 3年生(54名) 合計 : 約100名
台東区立 大正小学校	10/22 (金)	観劇 : 2, 3, 5年生(225名) リモート : 1, 4, 6年生(201) 合計 : 約400名
多摩市立 貝取小学校	10/26 (火)	観劇 : 特, 1, 6年生(103名) リモート : 2~5年生(151名) 合計 : 約240名



健全育成音楽劇の様子



リモート参観

1 健全育成音楽劇

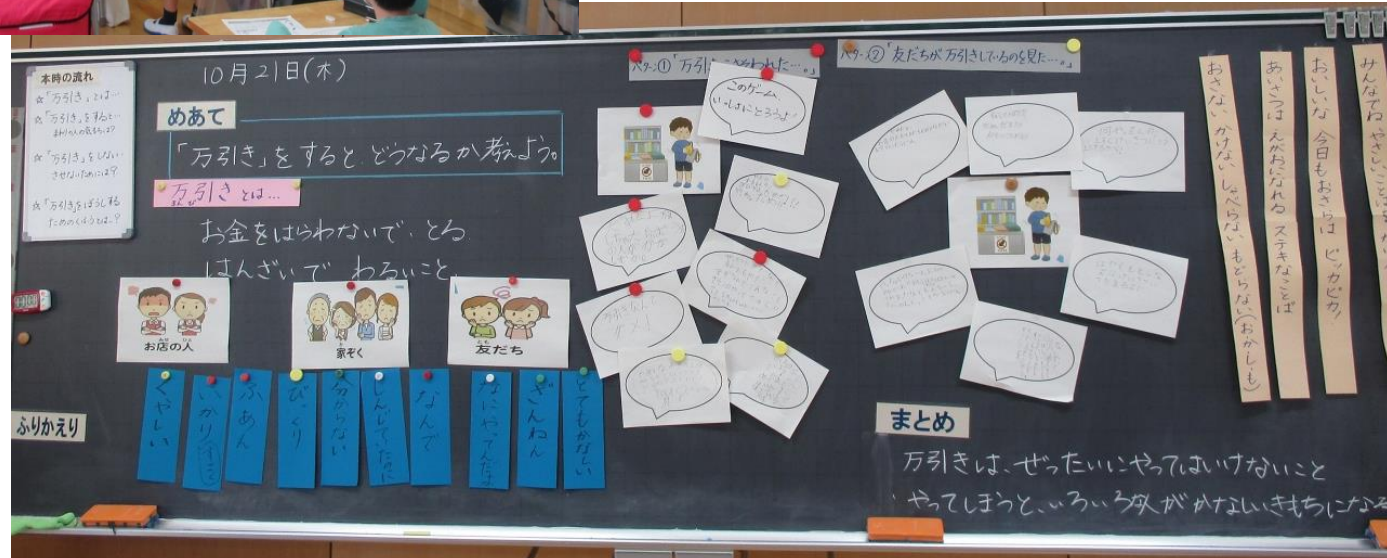
(2) 実績

音楽劇鑑賞後には、万引き防止啓発リーフレットを活用した事後授業も実施

稲城市立南山小学校 2年生



「このゲーム一緒にとろうよ」
「万引きは絶対だめだよ！」
「お家の人悲しむよ」
など、劇の内容とも繋げ、断り方を
ロールプレイングした



1 健全育成音楽劇

(2) 実績

音楽劇鑑賞後には、万引き防止啓発リーフレットを活用した事後授業も実施

多摩市立貝取小学校 6年生



「これからの自分はどうか」
 について話し合う活動を行った。
 「万引きを止められる人に」
 「なぜだめなのか話す」
 「はっきり断る」など、意見を発表
 し自分の考えを深めていた。

②もしあなたが友達に「とってきてよ」と言われたら、どうしますか。

万引きは、友達も家族もお店の人も自分も傷がつくし、メリットなんてないし。
 万引きは、犯罪だからやめようと言います。

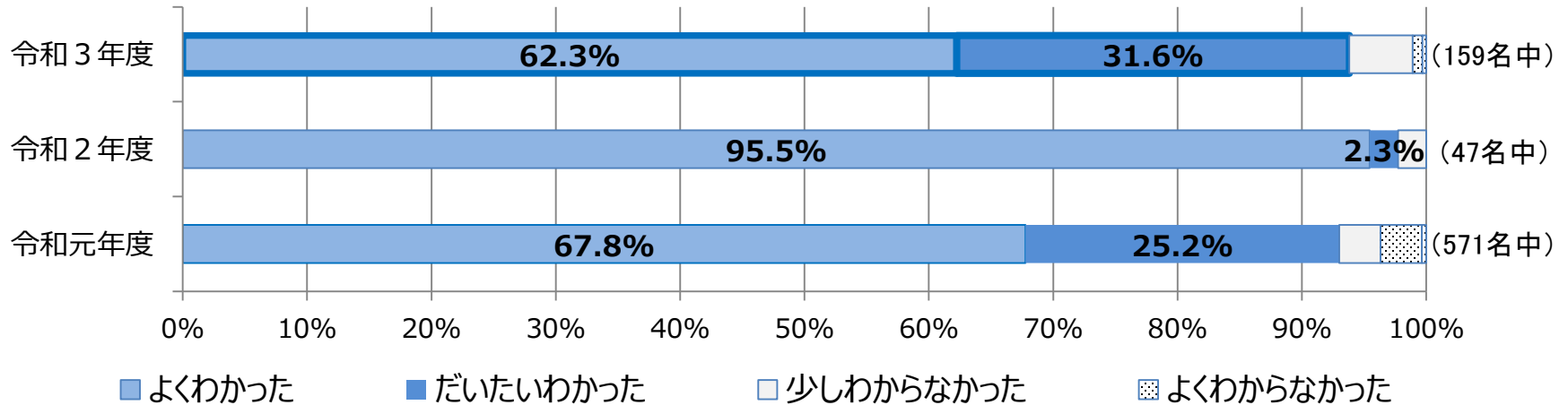
②もしあなたが友達に「とってきてよ」と言われたら、どうしますか。

うわ... そんな人だ、たんだ... 私は犯罪なんてできないよ。
 万引き、て犯罪なんだよ？ AとBも同じ罪になんたよ？

1 健全育成音楽劇

(3) アンケート結果

① 劇の理解度(児童)



肯定的な回答が9割以上

「万引きをした後のことなどが分かりやすかった。」(4年生)

「ちいちゃん(主人公)が正しくやり直せてよかった。

犯罪は本当にやってはいけないんだなと思った。」(3年生)

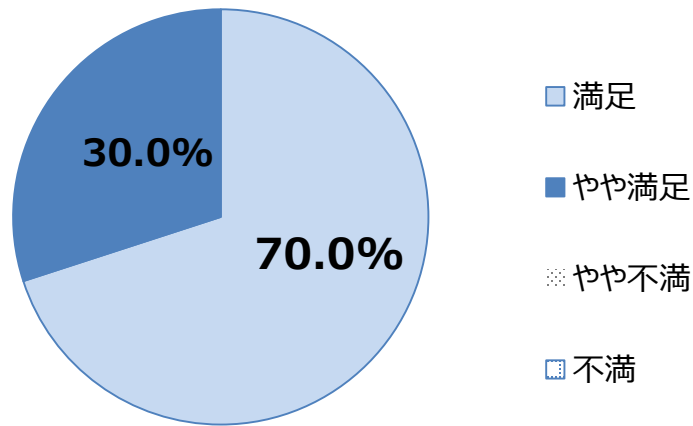
「万引きという言葉を知った」(2年生)

※ 昨年度は1校2クラスの児童のみの回答

1 健全育成音楽劇

(3) アンケート結果

② 劇の満足度(教員回答 10名)



・教員は、10人回答中、10人が肯定的な回答

「音楽もあり、子供に伝わりやすい内容となっていた」

「内容が分かりやすく、歌声のインパクトもあり、印象に残った」

「『万引きをやる前に戻ってやり直せる』という劇の構成がよかった」

「子供たちは楽しんでみていた。できれば会場で見せたかった」

令和3年度 東京都の取組報告 ～子供の万引き防止～

2 万引き防止啓発リーフレット

- (1) 概要
- (2) 万引き防止リーフレット活用状況調査
- (3) アンケート結果

2 万引き防止啓発リーフレット

(1) 概要

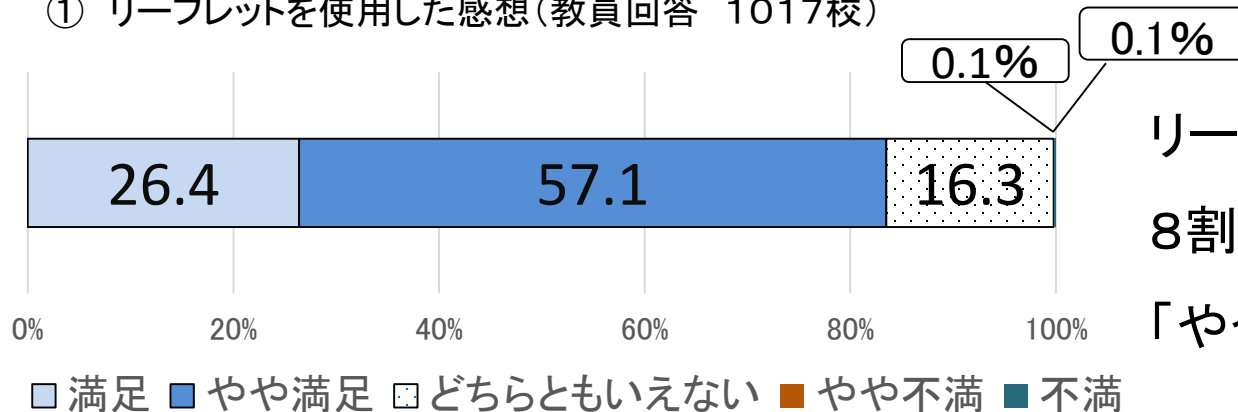
- 「万引きをしない、させない、見逃さない」という気運づくりを進め、子供の規範意識を育むことを目的として、平成19年度から作成、配布
- 都内全小中学校の対象学年の児童・生徒に配布
(小学校2年生用、5年生用、中学校2年生用の3種類、各13万部、計38.5万部作成)
- リーフレット本体と合わせ、教員向けの手引き「万引き防止リーフレットの活用について」も作成、配布
- 音楽劇を実施した学校をはじめ、多くの学校でリーフレットを活用した授業等を実施し、児童への啓発を行っている。



2 万引き防止啓発リーフレット

(2) 万引き防止リーフレット活用状況調査 (対象: 都内全小中学校)

① リーフレットを使用した感想(教員回答 1017校)



リーフレットを使用した感想は、
8割以上の学校が「満足」
「やや満足」と肯定的な意見

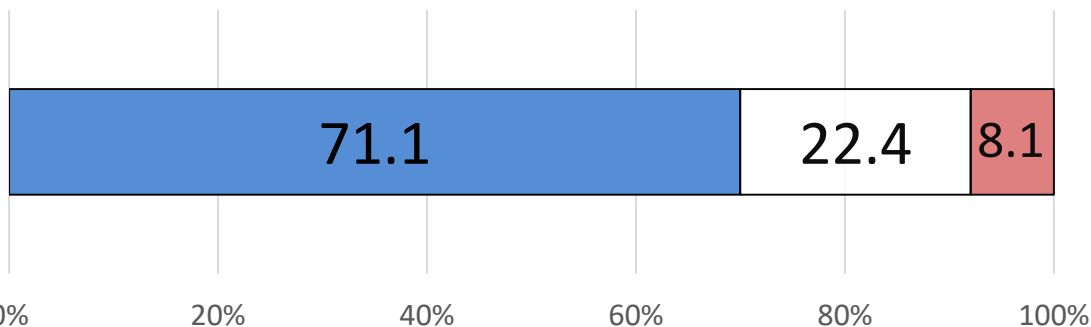
【主な意見】

- ・万引き防止の啓発に役立っていると思う。
- ・平易ながら、重大さは伝わる内容でよい。
- ・シンプルにまとめられているので子供たちも読みやすく、考えさせる質問も簡潔で分かりやすい。
- ・視覚的にインパクトがあるもので、中学生にもわかりやすいものだった。

2 万引き防止啓発リーフレット

(2) 万引き防止リーフレット活用状況調査 (対象: 都内全小中学校)

② 配布学年についての意見 (教員回答 1017校)



配布対象の学年を小学校2年生、5年生、中学校2年生とすることについては、7割以上が「良い」の評価

■ 良い □ どちらともいえない ■ 変更をした方がいい

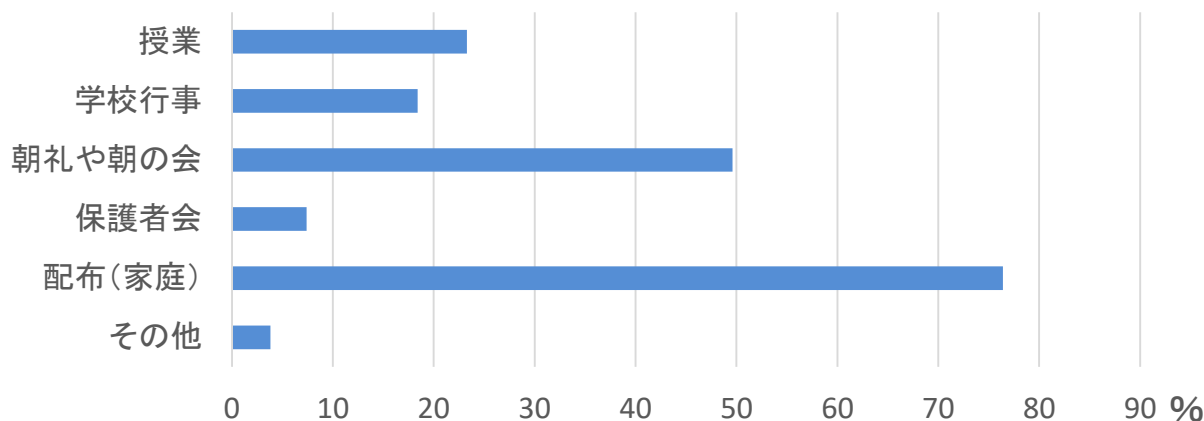
【「配布対象の学年を変更したほうが良い」主な意見】

- ・万引き防止の指導はとても大切なので、可能であれば全学年分リーフレットがあればもっと良いかと思いました。
- ・中学生には幼い気がする。→もっと厳しい内容でもいい。
- ・配布物は極力少なくしたいため、WEB閲覧で対応できるとよい。一人一台のタブレットPCを使用する。

2 万引き防止啓発リーフレット

(2) 万引き防止リーフレット活用状況調査 (対象: 都内全小中学校)

③ リーフレットの活用場面について (教員回答 1017校) ※複数回答



- ・学校行事
⇒セーフティ教室で実施
- ・朝礼や朝の会
⇒長期休業前の生活指導
などで実施

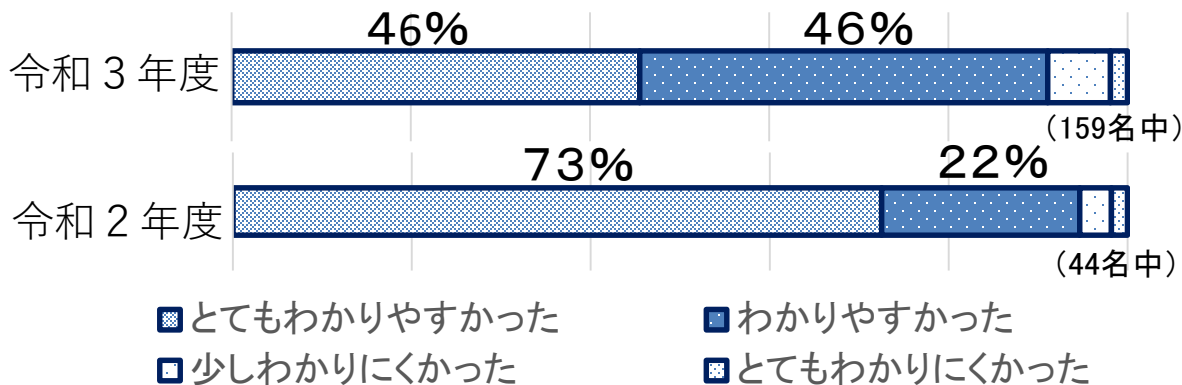
【主な意見】

- ・モデルとなる指導案も提案していただいているので、担任がリーフレットを活用しながら指導することができた。
- ・夏休みなど、長期休業に入るタイミングで配布できるとよい。
- ・セーフティ教室は保護者参観で実施しているが、参加者する保護者が少ないのが課題。家庭での指導のきっかけになればよいと考えている。
- ・保護者の目にとまる形が良いので、配布がよい。

2 万引き防止啓発リーフレット

(3) 万引き防止リーフレットに関するアンケート(対象:健全育成音楽劇参加児童)

リーフレットの理解度(児童)

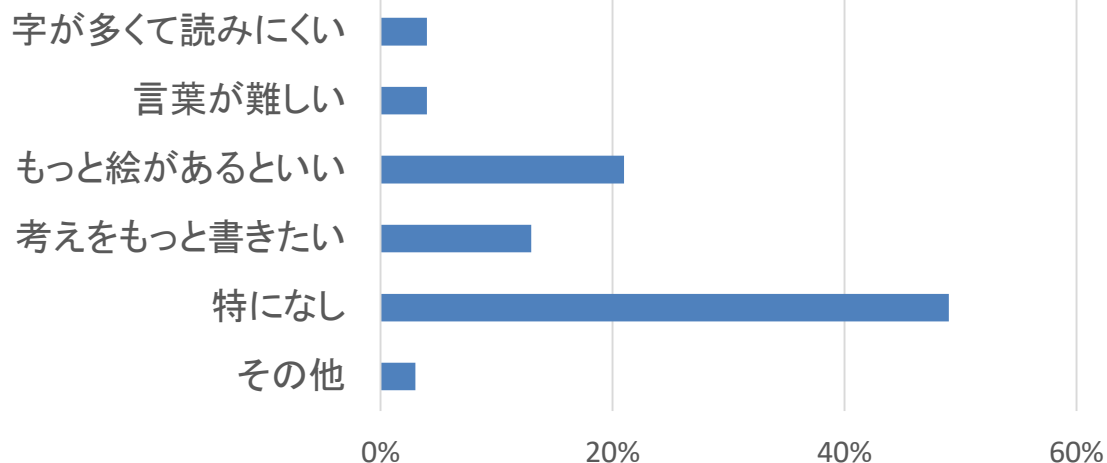


・音楽劇に参加した児童に調査

・8割以上の児童が肯定的な評価

リーフレットを使ってみて思ったこと(児童 159名中)

※複数回答



・「特になし」の回答が多かったが、一部の生徒からは内容が難しいなどの回答があった。

・「考えをもっと書きたい」という回答が13%あり、今後の修正案に反映

令和3年度 東京都の取組報告

～子供の万引き防止～

3 万引き防止標語（ポップ）

- (1) 令和2年度 優秀作品
- (2) 活用状況について
- (3) 商店街ニュースについて

3 万引き防止標語(ポップ)

(1) 令和2年度 優秀作品

健全育成音楽劇を実施した4校から2作品ずつ、合計8作品を選出
1点あたり100個ポップを作成し、合計800点を配布



葛飾区立葛飾小学校



江戸川区立南葛西第三小学校



世田谷区立代沢小学校



品川区立大原小学校

3 万引き防止標語(ポップ)

(2)活用状況について

品川区立大原小学校の作品



レジ前に設置

品川区の商店街の活用状況

下北沢駅南口の3つの商店街にて
掲示



3 万引き防止標語(ポップ)

(2)活用状況について

品川区立大原小学校の作品



商店街の掲示板に設置



商品付近に設置

- ・商品付近に設置し、児童や保護者、地域住民に注目されていた。
- ・飲食店のテーブル横や商店街の掲示板など、ポップの掲示場所に工夫が見られた。
⇒外の掲示の場合、ポスターのような大きなものの方が効果的

3 万引き防止標語(ポップ)

(3) 商店街ニュースについて

小学生の標語ポップに



子供の万引き防止に取り組んでいる東京都が、2020年度の新たな取り組みとして、小学生が作った万引き防止標語8作品をポップ800枚に仕上げ、商店街へ配布した。「万引き許さない心」を子供の心から書もうという狙いだ。

今回、事業に取り組んだのは、葛飾区立南郷小学校(1・2年)▽出田谷区立沢小学校(5・6年)▽江戸川区立南郷小学校(4年)▽川口区天原小学校(4年)の4校。

各校が作った「健康育成音楽劇」を鑑賞。友達に

ゆう気はねわるい時にはつかわない

東京都商店街振興組合連合会発行の令和3年4月5日付の「商店街ニュース」(発行部数：3300部)に、万引き防止標語の取り組みについて掲載

度、枚数削減を実施してきたが、標語へ切り替えてきたのは初めて。

4校合計約800人が、学年ごとにおもちゃの「子供に万引きをさせない連絡会」の委員らが著者。各校が制作、計8名の優秀作が選ばれ、ポップになった。「これは実際に店舗で使われているので3月から4区の商店街連合会

都が4区で配布 「万引き許さぬ心を」



北ウイング葛戸商店会の高山会長



南戸1丁目の更科ゆたか

扱う客層では、防犯カメラや高層階へのタカ隊隊など対策取っているもの、万引きには驚ま

を添じ、小学校間の商店へ配布された。

例えば、葛飾小学校(南戸1丁目)のポップは、主に青砥駅周辺の商店へ配布。このうち北ウイング葛戸商店会の高山会長は、駅前で営業中の、陳列のあちらこちらに「万引き許さない心」と書いた。

高山会長は「マシメ用品など小物でも」

本たっている。ショップ振替有化を機に、ママバッグに入れている、バッグに入れて行われるケースを減らしたい。

青戸駅前通りの商売の青戸学生会は葛飾区だが、葛飾小学校の児童や家族、近隣住民が訪れるから、テールボックスの目立つ位置にポップを貼った。「いい取り組んだね」を贈っている。

同様に、代沢小学校(代沢1丁目)のポップは、北沢駅西側の商店会、南郷四丁目三小(南郷西4丁目)の葛飾区小学校の4商店会、大原小学校(白鷺1丁目)の日本橋公園周辺の商店会に配布される予定。

◆事業の紹介サイトは www.koshin.or.jp/menber/04_senpo/chuho-honshi/

Photo: ianahiki